

人間関係の構築について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年7月29日）

今年度入学した1回生のものです。

学問をするうえで、人と対面で出会い、触れ合っていくことは大変重要な要素だと考えています。

しかしながら、今年度の1回生は大学で対面授業がないため、従来の学生が享受していた対面での人間関係の構築、つまり、学部学科年齢にとられない幅広い人間関係の構築と、そこから得られる知の触れ合いを知ることなく夏期休暇に入ろうとしています。

大学としては、この学問において重要な要素の一つである幅広い人間関係の構築の点において、1回生とその他上回生との大きな格差についてどのようにお考えでしょうか。

また、後期もオンライン授業となると、1回生の多くが大学での人間関係の構築をしないまま2回生になってしまいますが、その点については、どのようにお考えでしょうか。

【回答】（回答日：2020年7月31日）

（回答者：教育推進・学生支援部）

緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見えず、不安な状況の中、毎日を過ごしていることかと推察いたします。大学としても、一日も早く皆さんが安心して登校できる日が来ることを願っているところです。

後期の授業については、今のところ検討中ではありますが、現時点の感染状況を鑑みると前期同様オンライン授業を中心に実施していくことが予想されます。人間関係の構築の点については、他の学生からも同様の意見をいただいております、各学部で学生同士または学生と教員がコミュニケーションをとれる場を設けることを検討しております。

多くの皆さんが、この非常時に大きな不安やストレスを感じておられることと思えます。今後も学生支援に関する施策については、皆さんの様々な想いを受け止めつつ、検討を進めてまいります。